



5月のさわやかな青空の中、校舎から見る由布岳の緑が日一日と色濃くなっています。子どもたちも先生方も10連休の疲れがとれ(?)、学校での生活リズムが戻ってきました。それが靴箱の靴の並びに現れています。写真はある日の2年生や4年生の靴箱の様子です。見事にそろって、見ていて気持ちがいいですね。履き物と気持ちについてのこんな詩を紹介します。

はきものをそろえる

藤本幸邦

はきものをそろえると 心もそろろう

心がそろうと はきものもそろろう

ぬぐとときにそろえておくと

はくとときに心がみだれない

だれかがみだしておいたら

だまってそろえておいてあげよう

そうすればきっと

世界中の人も心もそろうでしょう



平和集会

由布院小では、年間を通して定期的に平和について考える集会を行っています。16日には憲法記念日にちなんだ集会を行いました。(少し時期が遅れましたが…)

集会委員会がきまりについての劇や紙芝居、憲法についての調べたことを発表してくれました。みんなで仲良く学校生活を送るために、きまりをまもる大切さ、話し合いの大切さ、友達を大事にすることなどを学ぶことができました。



春の球技大会！ 相撲大会は雨天中止

湯布院子ども会育成協議会が後援する恒例の球技大会(4月28日)が行われました。お天気に恵まれ、汗ばむ中での開催となりました。

子どもたちは日頃の練習の成果を発揮し、優勝めざしてがんばっていました。少年野球の優勝は川南チーム、少女ソフトボールの優勝も川南チームでした。決勝戦はどちらの試合も競ったいい試合でした。

一方、湯平温泉祭りで行われる予定だった子ども相撲大会(5月19日)の方は、雨のため中止となりました。大会を楽しみにしていた子どもたちには大変残念でした。

さて、ここ数年、子ども会のスポーツ行事に出場するチームや児童が年々減ってきていると聞きました。少子化に伴い仕方がないことかも知れませんが、地域でのこのような行事は大切にしていきたいものです。異学年交流は、子どもたちの友達づくりだけでなく、地域コミュニティの形成にとっても大変重要であると思います。各地区の子ども会役員さんには、毎年大変なご苦労だと思いますが、何とかこれらも、子ども会行事を盛り上げてあげていってくださいね。



自由参観日 5月24日(金)の1校時(8時55分~9時40分)は自由参観日です。保護者の皆さんだけでなく、多くの地域の皆さんの参観をお待ちしています。子どもたちを見に来てください。